

定期テスト必勝マニュアル

定期テストに向けた取り組みや普段心掛けることなどをポイントにまとめてみました。まだ定期テストを経験していない新中1生はもちろん、それ以外の生徒も今までの自分の勉強の仕方を見直して、参考にしてみてください♪

学校の授業を制するものは、定期テストを制す!?

まずは、学校の授業を上手に受けましょう。先生は、授業を通じて何をしてもらいたいと思っているのか。それは、**学習内容の理解と定期テストの情報をゲットすること**です。ここまで頭に入れて、実際の授業で何をすべきかを確認していきましょう。

★★

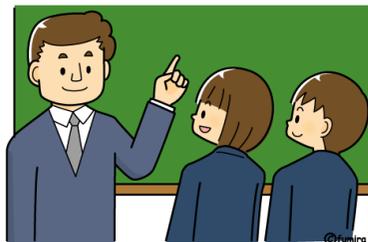
◇授業の受け方、ここがポイント!◇

●先生の「ここが大事」「ノートに取れ」はビッグサイン

授業中に先生たちは、**実に多くのヒントを与えてくれています**。先生は皆さんに内容を理解して欲しいと思っていますし、テストで良い点を取って欲しいと願っています。

「ここが大事だよ!」「教科書に印をつけよう」「ノートに取って」

こんな言葉が先生の口から出たら、**絶対に逃してはいけませんよ!**



●プリントは無くさない!

カバンの中に、**クリアファイルを入れておきましょう**。そして、クリアファイルにはメモ用紙を1枚入れておきましょう。

プリントは一か所に集めておくのが鉄則です。油断するとどこにいったか分からなくなつて、大事な時に活かしていきけません。必ずクリアファイルに集め、**先生が大事なテスト情報をくれた時にメモに記入して戻しておく**。

忘れっぽい人こそ準備が大切。こんな単純なことが、実は大きな成果を上げるのです。

★★

◇テスト勉強のやり方◇

●勉強の中心は覚えること

実際のテストで出題される中身を見てみると、数学のように**問題を解く方法を身につけなければならぬもの**と、**テスト範囲の内容を覚えて準備するもの**に分かれます。

この2つどちらが多いかという、実は圧倒的に**「覚えるもの」の方が多**いのです。解く方法を身につけなければならぬものは、数学と英語・理科の一部など意外に少ないのです。

つまり、**定期テストの対策は覚えることがメイン**であると言っても過言ではありません。この現実をしっかりと受け止めて、いかに効率良く覚えていくかを考えましょう。

●やはり問題も解いていかないと

テスト前に教科書やプリントを何回も読んだり、ノートにまとめたりして頑張つて覚えたのにも関わらず、テストでは良い結果が残せなかったということないですか?

その原因は、**やはり「覚えるだけ」で終わってしまっているから**。

実際に問題をやって覚えたかどうかを試してみなければ、

「覚えた」と「覚えたつもり」の区別はつきません。

ここにワークの存在価値があります。ワークの問題は教科書の大切なポイントをきっちり押さえて作ってありますし、本番で出そうなものばかりですので、ワークを解いて覚えているかどうかのチェックをしましょう。



●人は忘れる生き物ですよ!

暗記した⇒問題を解いて確認した。

一度確認したくらいで全て出来るようにはならないですよ。人間は忘れる生き物です。一度やったと言っても忘れてしまうものも出て来るでしょう。そうならないためにも、**繰り返し問題を解いていきましょう**。

ワークを3回使い、

- ①回目 = 各單元ごとに勉強する
- ②回目 = 全体をやり終わって、通しで確認する
- ③回目 = テスト前日に最終確認する

こんな使い方が出来れば、しっかり定着しているはずですよ。



科目別の勉強法を伝授!

英語

●本文と日本語訳の対比ノート(分析ノート)とリスニングCDを活用せよ!

英語はきちんとした準備が出来れば、かなりの高得点が望めます。以下の流れでやってみましょう。

- ①分析ノート作成(ノート左に本文・右に日本語訳、新出単語の確認とSVチェックも忘れずに)
- ②CDに合わせて英文を目で追う(耳が慣れるまで何度でも)
- ③CDに合わせて日本語訳を目で追う(耳が慣れるまで繰り返し繰り返し)
- ④CDに合わせてもう一度英文を追い、その時に日本語訳が頭に浮かぶことが大事
- ⑤ワークを使って問題演習



このやり方をすれば、本文に慣れ、日本語訳が自然と頭に浮かび、しかもリスニング対策まで出来てしまいます。是非やってみましょう!

●文法の確認は、基本例文とワークで!

テストに文法事項は欠かせません。まずは、教科書の基本例文をきちんと確認しましょう。基本例文は新しく習う部分を太字にしていることが多いので、そこを中心に確認します。次にワークを使って、日本語訳・英作文を解いていきます。練習量をきちんと確保し、定着するまで行うのがポイント!

数学

●何はなくとも、まずは教科書です

テスト勉強の目的を簡単に言うと「**範囲内の教科書・ワークに載っている問題を全部解けるようにすること**」ですね。ただ、教科書には解答がついていません。先生が授業中に説明してくれなければ、解法・解答が分からないままです。ですから、授業に集中し解法・解答を聞き逃さないようにしないとイケません。

●計算への苦手意識を無くそう

数学が嫌いになる最初の要因は、**計算が苦手**ということ。計算は数学の基本となる部分ですから、そこで躓いてしまうとその後先へ進んでいくことは難しくなりますし、苦手意識はいつまで経ってもなくなりません。苦手意識を無くすためには、自分がどこで躓いているのかを把握しないとイケません。

正負の計算か、はたまた文字式か。分数・小数の理解が不十分なら、放っておかずすぐに勉強し直しましょう。計算力がついてくれば、自然と成績も上がっていきますよ!

国語

●ワークが主役です

とにかく**ワークを徹底的に繰り返すこと**。それだけで9割以上取れることも珍しくありません。テストでは、教科書に載っている長文が題材として使われます。**問題を作る時に出題のポイントはだいたい決まっています**。ワークは、そのポイントを押さえて作ってありますから、そこで出てくる問題を解けば文章全体の流れも正しく理解できるというわけ。

●古文を日本語と思わない!?

古文が苦手だという人も多いと思いますが、おもいきって**日本語ではないと考えてはどうでしょうか**。英語に比べれば当然読み易いはずですし、はるかに覚えることも少ないはず。出てくる古文のストーリーを理解し、先生が大事だと言った古文単語を覚えるだけでも結果は違ってきますよ。

理科

●「なぜ?」と考えることから始める

興味・関心がないと、なかなか成績が上がらないのが理科です。なぜ草食動物は横に目がついていて、肉食動物は前についているのか。この「なぜ?」と考えることが、興味・関心につながっていき、理解を深めるきっかけとなります。

●授業でやった実験は大事

とにかく**授業中に行った実験は徹底的にマーク**しましょう。覚えるコツは絵や図などをよく見ることに。文字と照らし合わせていくと理解しやすいですよ。



社会

●記述、嫌いですか?

覚えることが多くて大変なのに、記述も出題されたらお手上げ。そんな皆さんにお伝えしたいのは、記述では**今まで覚えた内容を詳しく説明すれば良い**のですよ!ということ。何も新しい知識や文章・言葉を使う必要はないのです。

●目で覚える

社会は、覚えることがたくさんあって大変。だからこそ、**使えるものは全て使っちゃおう**。目を使った勉強をすると記憶に残りやすいです。何度か見たものは自然と覚えていることが多いですから、**地理であれば地図帳を、歴史であれば資料集**を使いこなしましょう。